大館市政だより
第四十九号（毎月一回発行）
発行所秋田県大館市 大館市役所
編集兼発行人 田村正六

農業委員会委員選挙

統合初の選挙による

＝新農業委員の顔ぶれ＝

昭和二十九年七月行われた選挙で選出された農業委員会委員の任期は、昭和三十二年七月十九日満了し、今回の選挙は去る七月十六日執行されたが、今回の選挙は、従前七つあつた農業委員会が一つに統合されて初めて行われたものであり、農業生産力の発展、農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与する等、農業に関する行政委員会に期待が大きいだけあつて、非常に大切な意義があつたと思われます。

大切な選挙であること、合併後初めて行われるということからしても、相当激戦が予想された。事実、立候補届出も、初日の七月六日には早くも十九名があり、続いて立候補締切の十二日には、四十名の定数を二十六名超過する六十六名に達し、一、六五倍の競争率を示した。しかるに、十三日四名、十四日には大挙十四名、締切の十五日には更に五名の辞退届出があり、長木、下川沿選挙区を除く大館、上川沿、真中、二井田、十二所の各選挙区は、定数を超えないことになつたので、無投票で当選人が決定された。

新しく農業委員に当選された方は次のようになつています。

尚届出期間中における立候補届出状況は別表のとおりである。

当選人

大館選挙区　船木定三郎　菅原尚夫　桜庭亥之松　木村敬吉　日景助次　石田鶴蔵　菅原弥右ェ門　佐々木半二郎　桜庭勝美　畠山又克　三浦卯一　桜庭善松

二井田　小林与吉　安遠正三　柳谷三郎　小畑正太郎　因幡兵一

十二所　羽柴誠一　畠山金五郎　奈良儀助　柴田長右ェ門　渡辺誠一　月居琢也　畠山清一

上川沿　田中清太郎　戸田竹雄

真中　糸屋由太郎　高村勇七　和田訂　石戸谷岩吉　富樫久之助

下川沿　富樫卯一　鎌田孫太郎　斎藤浩　佐藤省一

長木　石田豊治　近藤久司

安部義美　渡辺清三郎　浪岡善之助

立候補届出状況 A

選挙区＼日次	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	計
大館	2	1	5	6	3	7		24
長木		1		1	3	4		9
上川沿		1			1	3		5
下川沿	2	2	1			1		6
真中	2				3			5
二井田	7							7
十二所	6	1			3			10
計	19	6	6	7	13	15		66

立候補届出状況 B

選挙区＼事項	定数、競争率		辞退届出		辞退後の競争率
	定数	競争率	月日	数	
大館	12	2,00	14日	12	0
長木	5	1,80	15日	3	1,20
上川沿	3	1,67	14日	2	0
下川沿	4	1,50			1,50
真中	4	1,25	13日	1	0
二井田	5	1,40	15日	2	0
十二所	7	1,43	13日	3	0
計	40	1,65		23	1,08

選挙の投票率 79,3%

投票を行うことになつた選挙区（長木、下川沿）における投票率は、当日の有権者数三四三五人に対して投票者数は二、七二四人で七七、三%となつている。これを前回（二十九年）同地区における七九、〇一%に比較すれば、〇三%上昇しているが、これは農業行政に対する選挙人の自覚を物語つているといつて過言だろうか。

×　×

無効投票は四六票（長木二八、下川沿一八）で、無効投票率は一、七%、前回における四八票（一、八%）に比して僅かに減つている。また、代理投票（悉く文盲で身体故障による事由がない）は五三人で、前回の七一人に比して大いに減じているがよろこばしい。

×　×

当選した委員四十人中、前委員が二十一人、新しく選出されたもの十九人である。また、これを年令別に見ると、五十才台は二十人（五〇%）で最も多く、次に四十才台十一人（二七、五%）三十才台五人（一二、五%）六十才台四人（一〇%）の順となつている。前委員の年令構成、五十才台三十三人（三六、三%）四十才台三十二人（三五、二%）六十才台十八人（一九、七%）三十才台八人（八、九%）に比較すれば、三十才台の当選人が三、六%増加している。

×　×

五月十三日から七月十日まで二十八回にわたつて、各町内、部落において農業委員会委員選挙を中心とした「話しあい」を実施したが、これに参加した選挙人は三六七名（男三三五名、女三十二名）で所期の目的に達している。「話しあい」における選挙人の意見、質疑等選挙の管理執行上大いに参考となつた事項があるが、これは別項の通りである。

おらが街の

石田労働大臣

晴れの郷土入り

石田労働大臣（本市出身）は、大臣就任後初の郷土入りを去る七月二十一日午前十一時三分大館駅着急行津軽号で、郷土に第一歩を踏んだ。

駅頭には佐藤市長、渡部議長初め労政関係者、市民多数が出迎え、おらが街の大臣を心から祝福した。

また午後一時から鳳鳴高等学校で開かれた、市主催労働大臣就任歓迎祝賀会には官民約四五〇名が参加して催された。

（写真）上 祝賀会場で挨拶する石田労働大臣　右 祝賀会場に参加した人達

真中 公民館 支所 の新築！

・市定例会で決定・

大館市議会七月定例会は去る七月二十二日午後一時から市議会議事堂で開会され、会期は一日で閉会した。

定例議会で審議され主なる案件をみますと旧警察署跡地に第二種中層耐火構造八戸連続四階建一棟三十二戸、三百三十四坪の設置、真中支所及び真中公民館等の新築があげられますが、大館市青果卸売市場審議会委員、選任による農業委員の選出が行われた結果、次のように選出された。

▽大館市青果卸売市場審議会委員

菅原一雄、小畑勇吉、虻川耕一、上村清右ェ門

▽選任による農業委員

佐藤安治、木村忠助、畠山耕英

洪水害未然防止に万全を期する

市消防署では水防法に基き洪水害に対して水害を警戒、防禦しこれによる被害を軽減し、水害の未然防止に万全を期するため、市内重要水防箇所の危険個所を指定、避難場所等を次のように定めました。

水防の危険個所は大館地区三、釈迦内四、長木二、二井田三、真中三計十五個所が指適されている。

水防危険指定区域

▽大館地区＝①長木川右岸東大橋上流地点より一、五〇〇米地内 ②長木川左岸大館水防倉庫地点より上流四〇〇米地内 ③長木川左岸神林医院裏水門附近一〇〇米地内。

▽長木地区＝①長木川右岸神社より上流三〇〇米地内 ②小茂内川左岸小茂内橋下流二〇〇米地内。

▽釈迦内地区＝①下内川右岸長面橋下流二〇〇米地内 ②下内川右岸松峰橋地点より上流三〇〇米地内 ③下内川花岡川左岸二〇〇米地内 ④下内川右岸松峰水防倉庫より下流一〇〇米地内。

▽二井田地区＝①才川左岸二井田より上流五〇〇米地内 ②才川右岸二井田橋より上流一、一〇〇米地内 ③引欠川右左、岸本宮橋より上流二〇〇米地内。

▽真中地区＝①引欠川左岸大披橋より下流二〇〇米地区 ②引欠川左岸小袴橋より下流一〇〇米地区 ③引欠川右岸米代川方流点より上流七〇〇米地内。

避難場所

大館＝桂城幼稚園（下町独鈷町、通り町、栄町）大館駅（御成町地区）

釈迦内＝釈迦内小学校、第二中等校。

下川沿＝下川沿支所。

上川沿＝上川沿中学校、吉館小学校。

真中＝真中小学校。

二井田＝本宮（住宅）杉沢（裏高台）二井田小学校。

長木＝長木小学校。

市役所各課案内⑧

水道課

課長 唐沢重雄

この欄には皆様が市役所をお尋ねになられるときの参考に市役所各課室が何処にあつて、どんな人員構成でどんな仕事を、やつているかを紹介して参りましたが、今回はその八回目、水道課についてお知らせいたしましよう。

水道課

市役所の正面玄関を入りますと、すぐ右側に一階事務室が広がつていますが、宿直室を右に入りますと、ブロック平屋造りの庁舎が水道課です。

水道課には業務係、工務係の二係で構成されその所掌事務を大別すると

▽上水道に関することと

▽下水道に関することとなつていて、これらの事務を処理するため事務職員五名、技術職員六名（課定数十六名）でこれに当つています。

次の二係の事務内容についてみますと

▽業務係（職員五名）

①水道事業の経営、企画及び調査に関すること ②水道用土地、建物の管理に関すること ③給水事務に関すること ④水道料金その他水道事業に係わる収入の調定及び徴収に関すること ⑤水道事業の業務のための契約に関すること ⑥課内の庶務に関すること。

▽工務係（職員六名）

①水道施設の維持管理に関すること ②水道施設の調査並びに工事の施行に関すること ③量水器及び工事用材料器具の修理検査に関すること ④水質試験に関すること ⑤水道公認業者の施行する工事監督並びに材料検査に関すること ⑥下水道に関すること。となつている。

以上申し上げました事柄についての御用事には水道課をお尋ねになればいいわけです。

課長 唐沢重雄
工務係長事務取扱
業務係長 田中靖一

業務係長 田中靖一

上水道

本市上水道建設も着工して以来一年有余、市民各位の絶大なる御支援により、このほど待望の配水池が完成しました。この配水池は長根山公園の南側にて市内を眼下に見渡す処にあります。この容積は、直径二十五米、深さ四米の鉄筋コンクリート造りで、その貯水量は二、〇〇〇立方米で石数にして、約一万一千石となつております。この配水池完成とともに今後は電休日は勿論、不時による停電といへども何等心配なく水道の水を充分に使うことができます。

また年々人の数が増加して社会生活をする本拠である町や市等の範囲も拡大したと共に、人口の密度も非常に高くなつて参りましたので日常使われる水の量も莫大に多くなり、これらの下水の為に地下水が非常に汚染せられて参りました。そこでただ井戸で吸み上げる水のみにでは、飲料水は勿論、食物の調理用の水としても非常に危険ですので上水道の必要となつた原因の一つであります。市内の地下水を試験した結果では四割以上が飲料不適となつて現われております。衛生的で文化的な生活の根源である水〃が一般家庭で一日八円位で充分使うことができるのです。

給水工事は月賦で

尚一般家庭用の給水工事費は、引込線より蛇口まで十五米以内で約一万円前後で出来、三カ月、六カ月、十カ月と月賦払いでやつておりますので、どうぞどんな御相談にも応じますから気軽にお申込み下さい。（水道課）

水道の申込みは
七〇一番
水道課へ

（写真）完成した配水池